

① 堤防天端

「舗装とするか土のままとするか」

- 利用**
- ・舗装あり ⇒ 車道、サイクリングロードとしての利用
車椅子は舗装路がよい
 - ・土のまま ⇒ 歩きやすい、ひとにやさしい
- 治水**
- ・舗装があると浸透しにくく、堤防によい
- 環境**
- ・土のままであれば、生物の生息空間となる
 - ・舗装をするとホコリが減る

舗装化



土のまま



② 堤防法面

「法面を自由に植栽してもらおうか」

利用

- ・身近な空き地、そこに花を植えたい
- ・堤防も町の一部なので、いっしょに美しくしたい
- ・花粉症の元を減らしたい
- ・虫、植物の観察の場

治水

- ・洪水時、洗い流されないような植物にしたい
- ・草刈をする事で、異常がないか点検

環境

- ・法面にも植物が生え、昆虫が生息する生息空間である
- ・外来植物の量、種が増加している

維持管理

- ・除草の回数、面積を検討し、費用を少なくしたい

櫻づつみ



③ 高水敷

「スポーツ利用は河川本来の姿か」

利用

- ・自由に使える(ただし、ゴルファー、モトクロス一等の迷惑行為あり)
- ・自治体にとっては、都市計画区域内の公園とし組み込み、貴重なスペース(現時点において一部の自治体にとって、堤内地での確保むずかしい)
- ・スポーツによる交流の場、子供たちへのスポーツ教育の場
- ・夜間利用の要望

治水

- ・洪水時、堤防の安定性確保

環境

- ・横断方向の生態系の不連続
- ・現状でもある一定の生物の生息空間となっている
- ・陸性の土地となっている為、河川本来の植生とならず、外来種が入っている。

河川敷利用等の自由使用

河川敷利用者に対する危険性



モトクロスバイクの乗り入れ



ゴルフの練習

出典:猪名川工事事務所

③ 高水敷

「スポーツ利用は河川本来の姿か」

利用

- ・自由に使える(ただし、ゴルファー、モトクロス等の迷惑行為あり)
- ・自治体にとっては貴重

治水

- ・洪水時、堤防の安定性確保

環境

- ・横断方向の生態系の不連続
- ・現状でもある一定の生物の生息空間となっている
- ・陸性の土地となっている為。河川本来の植生とならず、外来種が入っている。